

在宅介護における感染予防・衛生等に関する Q&A集

このQ&A集は、在宅介護における感染予防や衛生について「こんなこと聞いたら恥ずかしいかな」「今さら聞けないかな」というような質問にもお答えした、基本的な内容のQ&A集となっています。

ホームページ等でお寄せいただいた質問に対し、医師、看護師等の医療関係者と、介護事業所管理者等に、実際の在宅介護の現場を想定してご回答いただきました。

回答は、一般的な対応方法を掲載しております。特定の感染症への対応については、感染予防マニュアルの各感染症のページにてご確認ください。

【感染予防・衛生】

Q 1-1. 咳や鼻水が出る場合は、介護サービスに従事しない方がいいですか？

A 1-1. 感染性の高い病気かどうかによります。利用者は免疫機能も低下しており、感染しやすい状態であることを考慮して、感染の危険性が高い場合は交代してもらうのがよいでしょう。アレルギー疾患などの問題のない場合もありますが、利用者が嫌がられる場合もあるのでマスクを着用することは必要かと思えます。鼻汁のみの場合は、経過をみながらの就労は、可能と思われませんが、いずれにしても医師による診察、健康相談を受診し、事業所の就業規則に従ってください。

Q 1-2. 介護サービスに入る前に手洗いとうがいをしたいと思うのですが、利用者宅でなかなか洗面所を提供してもらえません。手洗い・うがいのかわりにどうすればよいですか？

A 1-2. 利用者への感染予防であるということを充分説明し、理解して頂き使用させてもらうことです。手洗い場の使用に関する協力要請パンフレット等作成し、契約時にお問い合わせするようにはいかがでしょうか。ケアマネや医師からも説明してもらうのもよいでしょう。速乾性のアルコール消毒剤もありますが、手洗いをした後にアルコール消毒をする方が望ましいです。

Q 1-3. 複数の利用者宅で続けて介護サービスを提供する場合、手洗い、マスク・手袋の交換のほか、衣服等は交換しなくてよいですか？

A 1-3. 直接、血液、膿、喀痰に触れる可能性がある場合は予防衣を着用すべきですが、通常の介護では、手洗い、マスクで十分と思われます。

Q 1-4. ペットを飼っているお宅で、居室内に犬・猫が糞尿をして長時間放置している場合がありますが、人体への影響はないのでしょうか？

A 1-4. 基本的には、ペットの糞尿が、直接健康に影響を及ぼすとは考えにくいですが、犬・猫アレルギーがある人は、注意が必要です。ペットの毛・糞尿等で汚染された部屋では、ダニの発生も起こりやすく、悪臭や床の腐朽の原因にもなり衛生的とはいえないので、こまめに清掃してください。

Q 1-5. 浴室や洗面所のクロス壁に黒いカビが発生して通常の掃除だけでは取れません。そのまま放置して問題ないのでしょうか？ また、家人がカビ取り剤の匂いを嫌うので、他に良い方法はありますか？

A 1-5. そのまま放置するのはよくありません。

カビ取り剤以外では、ハイター等次亜塩素酸ナトリウムを使う、酢で拭く、重曹を水で溶かしスプレーしてタワシで擦る等も効果があると思います。漂白剤系を使わず汚れ自体を処理するならば殺菌後にクロスを張り替えたり、上から防カビ剤入り塗料を塗ると効果が高くなります。いずれにしても、処理後の湿気対策が出来なければ効果の持続は難しいので、風通しをよくし、乾燥を心がけてください。

Q 1-6. シーツは消毒につけたり洗濯したりできますが、ベッドマットは消臭・殺菌スプレー等だけでも大丈夫でしょうか？

A 1-6. 基本的にベッドマット等、直接触れない部分に予防的な洗浄、消毒は必要ありません。天日干し（布団の両面）や、風通しのよい所で乾燥する、または布団乾燥機を使用して乾燥をはかってください。除菌スプレーを利用するのもいいと思いますが、その後の乾燥を忘れずに。福祉用具業者等では高温水蒸気（75～105℃）での消毒・乾燥という方法も使われています。

Q 1-7. かなりの量の便が付着したシーツは、少々揉み洗いした後、普通に洗濯するだけでよいのでしょうか？

A 1-7. 通常はそれで問題ないと思いますが、気になる場合は、塩素系漂白剤に浸ける、70℃の温湯に10分間浸ける等の消毒法があります。また、洗濯物へのアイロンがけは乾燥・消毒が同時にでき効果的です。

Q 1-8. オムツ交換時、ベッド柵等に便が付着してしまった場合、便を拭き取り、アルコール等の希釈液を吹きかけただけで十分でしょうか？ 他に良い方法はありますか？

A 1-8. 通常、非感染性の糞便の汚染については拭き取りと消毒剤の噴霧で十分です。便から何らかの菌が検出されている場合は、その菌に効果のある薬剤が必要です。ノロウイルスなどはアルコールで効果がありませんので、次亜塩素酸ナトリウム（ミルトン・ハイター・ブリーチ等）を使用してください。ただし次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食し錆びやすくしますので、使用後はよく拭き取ってください。

【感染症別】

<肝炎>

Q 2-1. C型肝炎の人が使用した食器の消毒をアルコールを混ぜた水につけて行ってはいますが、それでよいのでしょうか？

A 2-1. 使用后すぐに洗剤を用いて流水で洗えば十分です。可能ならば、熱湯消毒又は食器乾燥機を使用すればなお良いでしょう。

消毒用アルコールを水に混ぜて使用すると、消毒剤としての効果はなくなります。

Q 2-2. C型肝炎の人のリハビリパンツ（排尿あり）は、他の方のリハビリパンツや尿取りパットなどと一緒に廃棄してもよいのでしょうか？

A 2-2. 他の方のものと一緒に破棄してかまいませんが、袋に入れて、しっかり封をしてもれないようにして破棄してください。ただし、血液が付いていたり、処理者の指に傷がある時は直接触れないよう注意してください。

<インフルエンザ>

Q 2-3. インフルエンザ予防のためのマスクはどのようなものがよいのでしょうか？ 花粉症用のマスクでもよいのでしょうか？

A 2-3. 真の意味でのインフルエンザ予防については、専用マスク（N-95等）が必要になりますが、飛沫の飛散予防としては、不織布製のマスクの着用で、ある程度予防になります。しかし、やはり手洗い、うがいが感染予防の基本です。

Q 2-4. インフルエンザ患者が立ち去った後の部屋に入っただけでも感染しますか？ ウイルスはどの位生きているのですか？

A 2-4. 条件によります。乾燥や冷温などインフルエンザウイルスの喜ぶ環境がありますので、一概には言えませんがウイルスは数時間は生きていると言われています。患者のいた部屋は換気を充分行ってください。

<ノロウイルス>

Q 2-5. ノロウイルスやその他の感染症のウイルスが付着した床や手すり、ドアノブ等は次亜塩素酸ナトリウムを浸した布で拭くだけで効果はあるのでしょうか？

A 2-5. ノロウイルスは空気中に飛散し、それを吸い込んで感染します。便・吐物を処理する場合はディスポ手袋、マスク、エプロンを使用し、次亜塩素酸ナトリウムを浸した使い捨ての布・ペーパータオルで拭き取ります。拭いた布等はすぐにビニール袋に密閉し、ウイルスを拡散させないように注意しましょう。ただし次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食し錆びやすくしますので、使用後はよく拭き取ってください。

Q 2-6. ノロウイルス等の消毒ができる手指消毒液があればぜひ教えてください。

A 2-6. 十分な流水、洗剤で滅菌をはかり、十分乾燥しましょう。アルコール消毒液では確実な効果はありませんが、手洗い後使用し、さらに滅菌を行うことができます。

次亜塩素酸ナトリウム（ミルトン・ハイター・ブリーチ等）を手指の消毒に使用する場合は、手指用の濃度（0.01～0.05%）に希釈して使用してください。

手指消毒剤を使用すると手荒れをおこしやすいので、使用後はハンドクリーム等で十分ケアを行ってください。